

国際協力というシゴト

JICA & ICC Presents: Overseas Volunteer Seminar Series -Jobs Involving International Cooperation-



世界も、自分も、変えるシゴト。

◆ 協力隊OBOGによるトーク・セッション（体験談） ◆

1965年に日本政府事業として発足した青年海外協力隊事業も今年で50年目。これまで88ヶ国に約4万人ものボランティアが派遣され、その中には620人を超える早大卒の先輩方も含まれています。

さまざまな職種でそれぞれのミッションを背負い、世界各地に派遣される協力隊員たちは、現地で何を見、何を体験し、何を考え、どんなトラブルに直面し、現地の人々と自分自身にどんな変化をもたらしたのでしょうか。

今回は特別編として2名のゲストをお迎えし、国際協力の現場の声、および日本のODAの歴史・概要をお伝えします。

国際ボランティアに関心のある方だけでなく、対象地域に興味のある方、海外で働く経験を生で聞いてみたい方、奮ってご参加ください。

日 時： 2014年12月12日（金） 16:30～18:00

会 場： 大隈ガーデンハウス（25号館）1階

対 象： 早大生・教職員・一般

言 語： 日本語

事前登録： 不要

上田 潤子（派遣国：中国 職種：日本語教師）

1997年早稲田大学第一文学部哲学科哲学専修卒業後、日本語教師の資格を取得。韓国、台湾、日本で日本語教師を務めた後、2011年より2年間、青年海外協力隊の日本語教師として中国・武漢の中等職業学校に赴任。現地では中等職業学校のホテル管理学科で日本語を教え、また、日本の温泉旅館で1年間技能実習をするための予備教育を担当。帰国後、早稲田大学大学院日本語教育研究科に入学、現在修士2年。

こみ 巨海 亮二（派遣国：パラグアイ 職種：村落開発普及員（現：コミュニティ開発））

2006年法政大学法学部政治学科卒業。民間企業（広告業）に3年勤めた後、450日間世界一周旅行を実現。帰国後1年間の公立中学校講師を経て、日系社会青年ボランティアに参加。現在は公益社団法人青年海外協力協会にてJICAボランティア（協力隊）の広報、募集の仕事を通じ、世界に羽ばたく日本人を応援。

共 催：（独）国際協力機構 

セミナー運営協力：（公社）青年海外協力協会（JOCA）